

富士北麓グランドデザイン策定業務委託に係る
企画提案選定の手順及び審査の基準（企画提案審査）

1 選定の手順

- ・評価項目及び各項目の配点は次のとおりとし、審査委員 5 名が採点する。
- ・企画提案者の中で、各審査委員の合計点の平均点が最も高かった者を契約候補者とする。
- ・最も高い平均点の提案者が複数あった場合には、審査会で協議の上、総合的に判断し、契約候補者を選定する。なお、総得点が 1 位であっても、仕様書に沿わない場合や著しく低い審査項目がある場合は契約候補者に選定しないことがある。
- ・各審査委員による合計点の平均点が 6 0 点未満の場合は、当該企画提案者を契約候補者として選定しない。企画提案者が 1 者の場合も同様とする。

2 審査の基準

項目	内容	配点
提案者の情報		
類似事業の経験や専門知識・知見	・広域的なグランドデザイン、総合計画、地域戦略等の策定支援に関する実施経験について ・KPI達成に必要な専門性（まちづくり、地域づくり戦略、バックキャスト、政策・データ分析、交通・観光・環境・産業・民間投資、合意形成、図表・地図等による可視化、モニタリング・評価等）及びその活用方法について ※類似業務の実施経験は、単なる件数ではなく、本業務との類似性、担当範囲、成果及び得られた知見を記載 ※会社としての専門性に加え、配置予定者の専門性及び業務履歴も審査対象とする	20
実施体制・法令遵守・個人情報保護体制	・KPI達成及び委託終了後の自走を見据えた責任者・担当者の配置、役割分担、実務経験並びに他社・外部専門家との連携体制について ・業務量の変動や課題発生時にも対応できる実施体制について ・コンプライアンス及び個人情報等の管理体制について	5
基本的事項		
本事業の目的に対する基本的な考え方・スケジュール	・背景、目的並びに2050年の将来ビジョン及び中長期・短期KPIを踏まえた本業務のゴールについて ・KPI達成に向けた実現可能な事業実施スケジュールについて ・「富士山官民共創コンソーシアム運営支援業務」との情報共有、役割分担、案件・検討成果の相互反映等の具体的な連携方法について	25
業務実施における具体的手法		
業務実施における具体的手法	・人口、観光、土地利用、産業、公共交通等の現状分析、課題整理及びデータ分析の方法が具体的か ・2050年の将来ビジョンからのバックキャストにより、6分野の目指す姿、重点目標、成果指標、重点戦略及び重点プロジェクトを一貫して設定する方法が具体的か ・重点4分野について、各1件以上の重点プロジェクト案を作成するための実施主体、官民の役割分担、想定スキーム、工程、課題、次のアクション及び成果指標の整理方法が具体的か ・幹事会3回程度の運営、市町村・ワーキンググループ・地域関係者との合意形成及び意見の反映方法が具体的か ・委託終了後も関係者が自走できるよう、指標体系、確認方法、推進主体、役割分担、モニタリング及び見直しの仕組みを構築・引き継ぐ方法が具体的か ・その他、仕様書に位置づけられた内容に加え、本県の目的達成に資する提案があるか	40
その他 ※見積書で評価		
見積金額		10
合計		100